



竿だけは  
選んだほうが  
いいかな。

軟らかい竿で  
あまりジグが  
飛ばない  
ようにする。

◀竿先を海面に向けてゆっくり小さくシャクるのがコツ

▲軟らかい専用ロッドはタチウオの引きに追従するように曲がり込むので釣り味も格別だ

吉岡進の釣りを楽しく感じるままに

# E2F

Enjoy Every Fishing no.17

## 東京湾の ルアータチウオ

撮影・文◎高橋剛

★人気の釣り物、東京湾タチウオジギング。夏休み中ということもあり、東京湾奥深川吉野屋のルアータチウオ船は大盛況だ。お気軽でありながら、釣り味、食味とも最高のタチウオ。いつも以上にフレッシュな雰囲気の中、お客さんとふれあいながら夏タチを満喫するヨッシーだった。



状態は実によく工夫されており、水の抵抗で様ざまなアクションをするように作られている。おおよそ金属とは思えないほどヒラヒラと舞ったり、シュツ、シュツと横つ飛びしたりと、その動きはかなりダイナミックだ。これらのアクションは一般的に魚に対するアピール力が高いけれど、タチウオに関してはネガティブに働くこともある。「タチウオは泳ぎも捕食もヘタな魚だからね」とヨッシー。「ジグがハデに動きすぎると、追いつけないんだよ(笑)。しかもなりふり構わず食いつこうとするわ、泳ぎがヘタだわで、ミスバイト連発(笑)。」

「お母さんだけズルイ」と、今回の初挑戦となった……などとじっくり紹介する間もなく、「瑞希が掛けました!」と母・江里子さんが声をあげた。「おおっ、やったね少年!」

「お母さんの江里子さんとの釣行だ。エビエサのマグチ釣りやアジ釣りを経験しているが、タチウオジギングは初めて。いつもお母さんだけズルイ」と、今回の初挑戦となった……などとじっくり紹介する間もなく、「瑞希が掛けました!」と母・江里子さんが声をあげた。「おおっ、やったね少年!」

「夏休みはいいものだ。今や危険レベルに暑くなってしまうので、脳天気にも「外に出る」とは言いにくい。しかし、街に野に山に、そして海に、学校から解放された少年少女青年たちがわらわらと姿を見せるのは、それだけで素晴らしい。」

「ジギング入門にはピッタリだよ」と、ジャッカルプロスタフのヨッシーこと吉岡進さん。「ただ、竿だけは選んだほうがいいかな」と付け加えた。「とくに東京湾のタチウオはかなりスレている。活性が高いときにはなんにでも食いついてくるけど、ちよつとでもシブいときは、硬い竿でジグが飛んでしまつと食ってこないんだ。」

「だから軟らかい竿であまりジグが飛ばないようにする。そのほうが確率は上がるよ」



▲出船前に日焼け対策をしておこう



こっちも  
初タチ

▲初挑戦の内藤大智さんは初物を持ってヨッシーと記念撮影

▶ルアータチウオ経験者の池田夏樹さんは1メートル級をキャッチ



▲タチウオジギングの話で盛り上がる



▲ヨッシーがジグにサインをしてプレゼント



●深川吉野屋名物、「潮位が高いときの出船は、運河の橋の下スレスレを通過する」。思わず首をすくめてしまうが、見事な操船は見応えあり。あまりにスレスレゆえ、操船室は下部へと収納され、竿とヨッシーは寝かせておかないと折れてしまう。いやヨッシーは寝なくても。

出ず二人の姿はとも美しく、「こういう若者がいるうちは、ニッポンの未来は安泰だな……」とさえ思える。

メインで使うジグは、ジャックカル・アンチヨビメタルだ。笑いながら、「もちろんヨッシーさんに付度します！」。

最近の東京湾タチウオジギングは、同じ重さでもひとときわコングは、同じ重さでもひとときわコングが大流行している。今回も船中のお客様の多くがタングステンジグを使っていた。

そんな中、鉛製のアンチヨビメタルを使う二人なのだ。「タングステンは値段高いんですよ……。切られるのが怖いから、ちよつと使いづらいんですけど頭をかく内藤さんである。」

学生らしいではないか。そして、鉛製ジグをメインにしながらも内藤さん15本、そして池田

さんが20本と、しっかりと釣果を出して見せた。ちなみにヨッシーの今回のメインジグはフォールスピードの速さが特長のタングステン製TGバンブルズジグバンブだ。これで30本を釣った。

「今日日はパターンがないね」「フォールでも食ってくると、食い上げもあつた。ジグの色や重さも色いろ替えてみたけど、これと

いうパターンは見つけられなかったな……。パターンがないのも、パターンのひとつと言えるよね。こう

いうときは、とにかく色いろ試すしかない。だからジグも色々なカラー、色んな重さを用意しておくといいよ」



▲何本か釣るとタチウオの引き味を楽しむ余裕も出てきた



▲お母さんの内藤江里子さん(右)に釣り方を教わり人生初のタチウオをキャッチした瑞希くん。やったね、おめでとう！



▲こまめな水分補給を忘れずに

「でも、タチウオはタチウオでなかなかセレクトタイプ(ジグを選ぶ)なところが面白いんです」と、同級生の内藤さんと連れだ

「今、メインで狙ってるのは外房のヒラマサの大物なんですけどね」と池田さん。

「それが問題なんだよ」とヨッシー。空振りしたって恥ずかしいくないよ。そもそも、だれもゴーさんを見てないから。違和感があつたら即合わせる！

さつきは捕食ベタ、泳ぎベタと言ったけど、ジグの近くで様子を見たら、軽く噛んだりすることも多いんだ。そういうときはドスンという明確なアタリはなく、違和感程度。「モフモフしたアタリ」ってヤツだね。

「今日日はパターンがないね」「フォールでも食ってくると、食い上げもあつた。ジグの色や重さも色いろ替えてみたけど、これと

「今日日はパターンがないね」「フォールでも食ってくると、食い上げもあつた。ジグの色や重さも色いろ替えてみたけど、これと

「今日日はパターンがないね」「フォールでも食ってくると、食い上げもあつた。ジグの色や重さも色いろ替えてみたけど、これと



▲ヒットルアーはタングステン製のTGバンブルズジグバンブ120グラム